

平成22年国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計 結果の概要 (北海道分、昼間人口及び通勤・通学人口)

《利用に当たって》

この概要は、平成24年6月26日に総務省統計局が公表した、北海道分の「平成22年国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計」結果の主な項目について、取りまとめたものである。

1 用語の解説

(1) 夜間人口（常住地による人口）

調査時に調査の地域に常住している人口

(2) 昼間人口（従業地・通学地による人口）

従業地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口

例) A市の昼間人口 = A市の夜間人口 - A市からの流出口 (注1) + A市への流入人口 (注2)

注1) A市からの流出口・・・A市からA市以外への通勤・通学者数

注2) A市への流入人口・・・A市以外からA市への通勤・通学者数

※ただし、昼間人口には買物客などの非定期的な移動は含まれない。

(3) 昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の割合であり、100を上回っているときは流入人口が超過していることを示し、100を下回っているときは流出口が超過していることを示している。

(4) 通勤・通学人口

自宅外で従業している15歳以上就業者の人口と学校（予備校などの各種学校，専修学校を含む。）に通っている15歳以上通学者の人口

2 統計表上の注意

(1) 市区町村の境域は、調査日（平成22年10月1日）現在の境域による。

(2) 「-」は該当数字がないもの、「0.0」は単位未満の数を示す。

(3) 割合を示す数値は、単位未満を四捨五入のため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。

3 主な集計結果の公表（北海道分の公表時期）

(1) 人口等基本集計（平成23年10月26日公表・HP掲載）

人口の基本属性、世帯の状況及び住居について集計したもの

(2) 産業等基本集計（平成24年5月17日公表・HP掲載）

人口の労働力の状態、産業（大分類）別の就業者数や、夫婦と子供のいる世帯等について集計したもの

(3) **従業地・通学地による人口・産業等集計【今回公表分】**

従業地・通学地による人口の構成や常住地の市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などを集計したもの

(4) 職業等基本集計（平成24年11月頃公表予定）

就業者数を職業（大分類）別構成に分けたものや、親子の同居の状況等について集計したもの

内容についての照会先

北海道総合政策部地域行政局統計課生活統計グループ

〒060-8588 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道庁別館9階

電話 011-204-5144（直通） 011-231-4111（内線23-681）

I 従業地・通学地別人口

○平成17年に比べ、15歳以上の通学者のうち、他市区町村への通学者の割合が上昇

15歳以上の就業者及び通学者 2,783,113人 のうち、通勤・通学者は 2,434,541人で、前回調査と比べ 140,369人(前回比△5.5%)の減少となっている。

このうち通勤者は、就業者 2,509,464 人のうち 2,167,611人で、前回調査と比べ114,661人(前回比△5.0%)の減少となっており、通学者についても 273,649人と、前回調査と比べ 18,989人(前回比△6.5%)の減少となっている。

また、通学者のうち、通学地が自市区町村である者の割合が、前回調査の65.1%から61.9%に低下したのに対し、通学地が他市区町村である者の割合は、34.9%から38.1%に上昇している。【表1】

表1 従業地・通学地別人口、15歳以上就業者数及び通学者数(平成12年,17年,22年)－北海道－

従業地・通学地	実数(人)			割合(%) 注3)			ポイント差	
	平成12年	平成17年	平成22年	平成12年	平成17年	平成22年	H12～H17	H17～H22
◎「就業者・通学者」総数 注1)	3,066,770	2,896,909	2,783,113	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
○自宅で従業	366,942	321,999	273,097	12.0	11.1	10.1	△ 0.9	△ 1.0
○通勤・通学者	2,699,828	2,574,910	2,434,541	88.0	88.9	89.9	0.9	1.0
・自市区町村内	1,836,557	1,719,211	1,608,480	59.9	59.3	59.4	△ 0.6	0.1
・他市区町村 注2)	863,271	855,699	826,061	28.1	29.5	30.5	1.4	1.0
(道内)	857,733	849,958	772,632	28.0	29.3	30.3	1.3	1.0
(道外)	5,538	5,741	4,740	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
○従業地・通学地不詳	—	—	75,475	—	—	—	—	—
●「就業者」総数 注1)	2,730,723	2,604,271	2,509,464	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
○自宅で従業	366,942	321,999	273,097	13.4	12.4	11.2	△ 1.0	△ 1.2
○通勤者	2,363,781	2,282,272	2,167,611	86.6	87.6	88.8	1.0	1.2
・自市区町村内	1,612,502	1,528,844	1,443,331	59.1	58.7	59.1	△ 0.4	0.4
・他市区町村 注2)	751,279	753,428	724,280	27.5	28.9	29.7	1.4	0.8
(道内)	745,970	748,167	679,556	27.3	28.7	29.5	1.4	0.8
(道外)	5,309	5,261	4,298	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
○従業地・通学地不詳	—	—	68,756	—	—	—	—	—
●「通学者」総数 注1)	336,047	292,638	273,649	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
・自市区町村内	224,055	190,367	165,149	66.7	65.1	61.9	△ 1.6	△ 3.2
・他市区町村 注2)	111,992	102,271	101,781	33.3	34.9	38.1	1.6	3.2
(道内)	111,763	101,791	93,076	33.3	34.8	38.0	1.5	3.2
(道外)	229	480	442	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0
○従業地・通学地不詳	—	—	6,719	—	—	—	—	—

注1)「就業者」「通学者」の総数に係る実数については、従業地・通学地「不詳」を含む。

注2)「他市区町村」の実数には、従業・通学先市区町村「不詳」を含む。

注3)「割合」については、分母から「従業地・通学地不詳」分を除いて算出している。

Ⅱ 男女、年齢、従業地別就業者

○他市区町村への通勤割合は、男性で40～44歳、女性で25～29歳の年齢階級で最も高い。

就業者のうち、従業地が他市区町村である者の割合は、男性が32.9%、女性が25.6%で、男性は女性に比べ他市区町村への通勤割合が高くなっている。

他市区町村への通勤割合を年齢階級別にみると、男性は40～44歳の37.3%が最も高く、20～64歳の各階級で30%を超えている。

一方、女性は25～29歳の35.6%が最も高く、20～34歳で30%を超えている。【表2】

表2 男女、年齢（5歳階級）、従業地別15歳以上就業者－北海道－

男女・年齢 (5歳階級)	総数	自市区町村		他市区町村		従業地 不詳		
		自宅	自宅外	道内	他県			
【実数】								
総数	2,509,464	1,716,428	273,097	1,443,331	724,280	679,556	4,298	68,756
15～19歳	34,955	24,824	624	24,200	9,686	9,077	38	445
20～24歳	157,517	102,491	4,301	98,190	48,282	45,736	211	6,744
25～29歳	208,055	129,560	7,716	121,844	66,922	63,736	254	11,573
30～34歳	242,915	152,769	11,444	141,325	79,368	75,948	296	10,778
35～39歳	287,097	183,328	16,040	167,288	93,137	89,042	374	10,632
40～44歳	266,664	174,210	18,343	155,867	84,367	80,371	461	8,087
45～49歳	271,669	182,073	23,081	158,992	83,588	79,473	558	6,008
50～54歳	267,369	184,764	28,463	156,301	78,077	73,877	603	4,528
55～59歳	297,612	212,683	40,031	172,652	80,494	74,987	718	4,435
60～64歳	254,338	186,096	43,540	142,556	64,963	59,272	552	3,279
65歳以上	221,273	183,630	79,514	104,116	35,396	28,037	233	2,247
男	1,413,462	919,977	152,624	767,353	450,826	422,200	3,933	42,659
15～19歳	16,151	11,657	450	11,207	4,294	3,961	29	200
20～24歳	77,261	51,435	3,107	48,328	22,299	20,902	150	3,527
25～29歳	112,222	71,036	5,198	65,838	34,505	32,549	195	6,681
30～34歳	140,085	86,642	7,007	79,635	46,641	44,529	245	6,802
35～39歳	166,317	100,956	9,091	91,865	58,537	55,862	328	6,824
40～44歳	146,381	88,424	10,139	78,285	52,710	50,100	434	5,247
45～49歳	146,497	89,833	12,608	77,225	52,626	49,972	537	4,038
50～54歳	147,891	93,892	15,451	78,441	50,993	48,218	577	3,006
55～59歳	171,032	112,875	21,692	91,183	55,239	51,532	701	2,918
60～64歳	153,331	104,026	23,820	80,206	47,371	43,598	520	1,934
65歳以上	136,294	109,201	44,061	65,140	25,611	20,977	217	1,482
女	1,096,002	796,451	120,473	675,978	273,454	257,356	365	26,097
15～19歳	18,804	13,167	174	12,993	5,392	5,116	9	245
20～24歳	80,256	51,056	1,194	49,862	25,983	24,834	61	3,217
25～29歳	95,833	58,524	2,518	56,006	32,417	31,187	59	4,892
30～34歳	102,830	66,127	4,437	61,690	32,727	31,419	51	3,976
35～39歳	120,780	82,372	6,949	75,423	34,600	33,180	46	3,808
40～44歳	120,283	85,786	8,204	77,582	31,657	30,271	27	2,840
45～49歳	125,172	92,240	10,473	81,767	30,962	29,501	21	1,970
50～54歳	119,478	90,872	13,012	77,860	27,084	25,659	26	1,522
55～59歳	126,580	99,808	18,339	81,469	25,255	23,455	17	1,517
60～64歳	101,007	82,070	19,720	62,350	17,592	15,674	32	1,345
65歳以上	84,979	74,429	35,453	38,976	9,785	7,060	16	765
【割合】 注1)								
総数	100.0	70.3	11.2	59.1	29.7	29.5	0.2	—
15～19歳	100.0	71.9	1.8	70.1	28.1	28.0	0.1	—
20～24歳	100.0	68.0	2.9	65.1	32.0	31.9	0.1	—
25～29歳	100.0	65.9	3.9	62.0	34.1	33.9	0.1	—
30～34歳	100.0	65.8	4.9	60.9	34.2	34.1	0.1	—
35～39歳	100.0	66.3	5.8	60.5	33.7	33.5	0.1	—
40～44歳	100.0	67.4	7.1	60.3	32.6	32.4	0.2	—
45～49歳	100.0	68.5	8.7	59.8	31.5	31.2	0.2	—
50～54歳	100.0	70.3	10.8	59.5	29.7	29.5	0.2	—
55～59歳	100.0	72.5	13.7	58.9	27.5	27.2	0.3	—
60～64歳	100.0	74.1	17.3	56.8	25.9	25.6	0.2	—
65歳以上	100.0	83.8	36.3	47.5	16.2	16.0	0.1	—
男	100.0	67.1	11.1	56.0	32.9	32.6	0.3	—
15～19歳	100.0	73.1	2.8	70.3	26.9	26.7	0.2	—
20～24歳	100.0	69.8	4.2	65.5	30.2	30.0	0.2	—
25～29歳	100.0	67.3	4.9	62.4	32.7	32.5	0.2	—
30～34歳	100.0	65.0	5.3	59.7	35.0	34.8	0.2	—
35～39歳	100.0	63.3	5.7	57.6	36.7	36.5	0.2	—
40～44歳	100.0	62.7	7.2	55.5	37.3	37.0	0.3	—
45～49歳	100.0	63.1	8.9	54.2	36.9	36.5	0.4	—
50～54歳	100.0	64.8	10.7	54.1	35.2	34.8	0.4	—
55～59歳	100.0	67.1	12.9	54.2	32.9	32.4	0.4	—
60～64歳	100.0	68.7	15.7	53.0	31.3	30.9	0.4	—
65歳以上	100.0	81.0	32.7	48.3	19.0	18.8	0.2	—
女	100.0	74.4	11.3	63.2	25.6	25.5	0.0	—
15～19歳	100.0	70.9	0.9	70.0	29.1	29.0	0.1	—
20～24歳	100.0	66.3	1.5	64.7	33.7	33.6	0.1	—
25～29歳	100.0	64.4	2.8	61.6	35.6	35.6	0.1	—
30～34歳	100.0	66.9	4.5	62.4	33.1	33.1	0.1	—
35～39歳	100.0	70.4	5.9	64.5	29.6	29.5	0.0	—
40～44歳	100.0	73.0	7.0	66.1	27.0	26.9	0.0	—
45～49歳	100.0	74.9	8.5	66.4	25.1	25.1	0.0	—
50～54歳	100.0	77.0	11.0	66.0	23.0	22.9	0.0	—
55～59歳	100.0	79.8	14.7	65.1	20.2	20.2	0.0	—
60～64歳	100.0	82.3	19.8	62.6	17.7	17.6	0.0	—
65歳以上	100.0	88.4	42.1	46.3	11.6	11.6	0.0	—

注1)「割合」については、分母から「従業地不詳」分を除いて算出している。

Ⅲ 産業大分類、従業地別就業者

○「情報通信業」の56.4%が他市区町村で従業

15歳以上の就業者の従業地別割合を産業別にみると、第1次産業では自宅従業の割合が68.7%と最も高く、第2次及び第3次産業では自宅外市区町村での従業割合がそれぞれ61.2%、62.2%と最も高くなっている。

また、他市区町村での従業割合をみると、「情報通信業」が56.4%と最も高く、次いで、「金融、保険業」で40.2%などとなっている。【表3】

表3 産業大分類、従業地別15歳以上就業者数（平成22年）－北海道－

産業（大分類）	総数	自市区町村		他市区町村 注1)		従業地不詳		
		(自宅)	(自宅外)	(道内)	(他県)			
総数	2,509,464	1,716,428	273,097	1,443,331	724,280	679,556	4,298	68,756
第1次産業	181,531	170,740	124,773	45,967	10,791	10,403	79	0
農業、林業	147,191	137,634	102,211	35,423	9,557	9,349	11	—
漁業	34,340	33,106	22,562	10,544	1,234	1,054	68	—
第2次産業	429,376	293,246	30,571	262,675	136,124	126,951	2,064	6
鉱業、採石業、砂利採取業	2,098	1,579	28	1,551	519	484	7	—
建設業	223,013	149,642	21,841	127,801	73,368	66,886	1,618	3
製造業	204,265	142,025	8,702	133,323	62,237	59,581	439	3
第3次産業	1,761,386	1,207,557	112,406	1,095,151	553,823	532,273	2,067	6
電気・ガス・熱供給・水道業	12,986	8,462	—	8,462	4,524	4,431	6	—
情報通信業	41,316	17,999	2,066	15,933	23,317	22,572	233	—
運輸業、郵便業	148,889	92,161	3,482	88,679	56,725	53,907	491	3
卸売業、小売業	420,276	290,614	33,370	257,244	129,662	124,166	496	—
金融業、保険業	52,051	31,148	2,250	28,898	20,903	20,330	67	—
不動産業、物品賃貸業	42,815	27,982	8,193	19,789	14,833	13,775	39	—
学術研究、専門・技術サービス業	65,476	40,794	9,613	31,181	24,682	23,746	174	—
宿泊業、飲食サービス業	156,428	118,562	14,247	104,315	37,865	36,040	92	1
生活関連サービス業、娯楽業	98,708	72,166	15,759	56,407	26,542	25,240	62	—
教育、学習支援業	108,645	70,136	4,307	65,829	38,509	37,727	68	—
医療、福祉	292,286	208,972	8,077	200,895	83,314	80,877	64	—
複合サービス事業	25,301	18,658	129	18,529	6,643	6,476	5	—
サービス業（他に分類されないもの）	164,565	108,393	10,540	97,853	56,170	53,562	181	2
公務（他に分類されるものを除く）	131,644	101,510	373	101,137	30,134	29,424	89	—
分類不能の産業	137,171	44,885	5,347	39,538	23,542	9,929	88	68,744
割合 注2)	100.0	70.3	11.2	59.1	29.7	29.5	0.2	—
第1次産業	100.0	94.1	68.7	25.3	5.9	5.9	0.0	—
農業、林業	100.0	93.5	69.4	24.1	6.5	6.5	0.0	—
漁業	100.0	96.4	65.7	30.7	3.6	3.4	0.2	—
第2次産業	100.0	68.3	7.1	61.2	31.7	31.2	0.5	—
鉱業、採石業、砂利採取業	100.0	75.3	1.3	73.9	24.7	24.4	0.4	—
建設業	100.0	67.1	9.8	57.3	32.9	32.1	0.8	—
製造業	100.0	69.5	4.3	65.3	30.5	30.2	0.2	—
第3次産業	100.0	68.6	6.4	62.2	31.4	31.3	0.1	—
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	65.2	0.0	65.2	34.8	34.8	0.0	—
情報通信業	100.0	43.6	5.0	38.6	56.4	55.9	0.6	—
運輸業、郵便業	100.0	61.9	2.3	59.6	38.1	37.8	0.3	—
卸売業、小売業	100.0	69.1	7.9	61.2	30.9	30.7	0.1	—
金融業、保険業	100.0	59.8	4.3	55.5	40.2	40.0	0.1	—
不動産業、物品賃貸業	100.0	65.4	19.1	46.2	34.6	34.5	0.1	—
学術研究、専門・技術サービス業	100.0	62.3	14.7	47.6	37.7	37.4	0.3	—
宿泊業、飲食サービス業	100.0	75.8	9.1	66.7	24.2	24.1	0.1	—
生活関連サービス業、娯楽業	100.0	73.1	16.0	57.1	26.9	26.8	0.1	—
教育、学習支援業	100.0	64.6	4.0	60.6	35.4	35.4	0.1	—
医療、福祉	100.0	71.5	2.8	68.7	28.5	28.5	0.0	—
複合サービス事業	100.0	73.7	0.5	73.2	26.3	26.2	0.0	—
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	65.9	6.4	59.5	34.1	34.0	0.1	—
公務（他に分類されるものを除く）	100.0	77.1	0.3	76.8	22.9	22.8	0.1	—
分類不能の産業	100.0	65.6	7.8	57.8	34.4	34.1	0.3	—

注1)「他市区町村」の総数には、従業・通学先市区町村「不詳」を含んでいる。

注2)割合については、分母から「従業地不詳」分を除いて算出している。

IV 昼夜間人口比率

○札幌市10区における昼夜間人口比率は、中央区が169.3と最も高く、手稲区が82.8と最も低い

平成22年の昼間人口は、道内では札幌市が 1,925,535人（前回比 1.7%増）と最も多く、次いで、旭川市が 348,932人（同1.5%減）、函館市が 286,732人（同5.6%減）、釧路市が 182,016人（同4.9%減）、帯広市が 175,656人（同1.1%減）などとなっている。【表4】

札幌市に近接・隣接する主な市町村の昼夜間人口比率をみると、札幌市の100.6に対し、江別市89.0、恵庭市94.8、岩見沢市96.3、北広島市97.4などの市で100を下回り、流出超過を示している。また、札幌市10区のうち、中央区だけが100を超え流入超過となっているが、前回の194.7から25.4ポイントと大きく低下し、169.3となっている。逆に、最も低いのが前回調査に引き続き手稲区で、82.8となっている。いずれも、道内市区町村における昼夜間人口比率の最高と最低の値となっている。【表5】

表4 昼間人口、市町村順位（上位 20市町村）

順位		昼間人口 A		夜間人口 B		昼夜間人口比率 A/B×100		昼夜間人口差 A-B	
		平成17年	平成22年	平成17年	平成22年	平成17年	平成22年	平成17年	平成22年
1	札幌市	1,893,946	1,925,535	1,877,965	1,913,545	100.9	100.6	15,981	11,990
2	旭川市	354,162	348,932	351,818	347,095	100.7	100.5	2,344	1,837
3	函館市	303,878	286,732	294,155	279,127	103.3	102.7	9,723	7,605
4	釧路市	191,420	182,016	190,474	181,169	100.5	100.5	946	847
5	帯広市	177,579	175,656	170,575	168,057	104.1	104.5	7,004	7,599
6	苫小牧市	172,885	173,468	172,758	173,320	100.1	100.1	127	148
7	小樽市	143,387	134,026	142,154	131,928	100.9	101.6	1,233	2,098
8	北見市	129,169	125,627	129,344	125,689	99.9	100.0	△ 175	△ 62
9	江別市	112,327	110,114	125,598	123,722	89.4	89.0	△ 13,271	△ 13,608
10	室蘭市	106,546	103,303	98,372	94,535	108.3	109.3	8,174	8,768
11	千歳市	96,531	98,026	91,388	93,604	105.6	104.7	5,143	4,422
12	岩見沢市	90,065	86,846	93,677	90,145	96.1	96.3	△ 3,612	△ 3,299
13	恵庭市	63,123	65,782	67,614	69,384	93.4	94.8	△ 4,491	△ 3,602
14	石狩市	61,230	61,412	60,100	59,449	101.9	103.3	1,130	1,963
15	北広島市	56,817	58,795	60,157	60,353	94.4	97.4	△ 3,340	△ 1,558
16	登別市	45,994	44,543	53,135	51,526	86.6	86.4	△ 7,141	△ 6,983
17	北斗市	43,162	43,300	48,056	48,032	89.8	90.1	△ 4,894	△ 4,732
18	滝川市	45,724	42,955	45,562	43,170	100.4	99.5	162	△ 215
19	網走市	43,106	41,591	42,045	40,998	102.5	101.4	1,061	593
20	稚内市	41,781	39,775	41,592	39,595	100.5	100.5	189	180
北海道									
	北海道	5,619,202	5,504,418	5,620,813	5,506,419	100.0	100.0	△ 1,611	△ 2,001

注) 平成17年の人口は、平成22年の市町村の境域に基づいて組み替えている。

表5 札幌市10区及び札幌市に近接・隣接する主な市町村の昼間人口比率

市区町村名	昼間人口(人)		夜間人口		昼夜間人口比率		昼夜間人口差	
	A		B		A/B×100		A-B	
	平成17年	平成22年	平成17年	平成22年	平成17年	平成22年	平成17年	平成22年
札幌市	1,893,946	1,925,535	1,877,965	1,913,545	100.9	100.6	15,981	11,990
中央区	390,438	372,808	200,535	220,189	194.7	169.3	189,903	152,619
北区	257,035	269,420	272,831	278,781	94.2	96.6	△ 15,796	△ 9,361
東区	235,844	243,059	253,827	255,873	92.9	95.0	△ 17,983	△ 12,814
白石区	197,648	201,654	201,254	204,259	98.2	98.7	△ 3,606	△ 2,605
豊平区	184,847	190,442	209,425	212,118	88.3	89.8	△ 24,578	△ 21,676
南区	128,940	128,223	153,021	146,341	84.3	87.6	△ 24,081	△ 18,118
西区	183,528	189,655	207,325	211,229	88.5	89.8	△ 23,797	△ 21,574
厚別区	115,493	117,056	129,432	128,492	89.2	91.1	△ 13,939	△ 11,436
手稲区	109,322	115,568	137,532	139,644	79.5	82.8	△ 28,210	△ 24,076
清田区	90,851	97,650	112,783	116,619	80.6	83.7	△ 21,932	△ 18,969
江別市	112,327	110,114	125,598	123,722	89.4	89.0	△ 13,271	△ 13,608
千歳市	96,531	98,026	91,388	93,604	105.6	104.7	5,143	4,422
恵庭市	63,123	65,782	67,614	69,384	93.4	94.8	△ 4,491	△ 3,602
北広島市	56,817	58,795	60,157	60,353	94.4	97.4	△ 3,340	△ 1,558
石狩市	61,230	61,412	60,100	59,449	101.9	103.3	1,130	1,963
当別町	18,681	18,078	19,972	18,766	93.5	96.3	△ 1,291	△ 688
小樽市	143,387	134,026	142,154	131,928	100.9	101.6	1,233	2,098
岩見沢市	90,065	86,846	93,677	90,145	96.1	96.3	△ 3,612	△ 3,299
南幌町	8,021	7,480	9,564	8,778	83.9	85.2	△ 1,543	△ 1,298

注) 平成17年の人口は、平成22年の市町村の境域に基づいて組み替えている。

表6 流出人口、流入人口,市町村順位(上位 10市町村)

順位	他市町村への流出人口		他市町村からの流入人口	
	市町村名	流出人口	市町村名	流入人口
1	札幌市	459,011	札幌市	471,001
2	江別市	29,464	帯広市	18,293
3	北広島市	16,749	函館市	17,334
4	石狩市	14,332	石狩市	16,295
5	恵庭市	13,477	江別市	15,856
6	北斗市	11,779	北広島市	15,191
7	小樽市	10,860	千歳市	13,681
8	登別市	10,728	室蘭市	13,424
9	帯広市	10,694	小樽市	12,958
10	音更町	10,681	旭川市	11,335
<hr/>				
北海道		782,203	北海道	780,202